

「川内地区・平佐西地区の浸水被害に関する検討会」 議事概要

主な意見

- 活発な雨雲が川内川流域にかかり、川内川流域の水位が短時間で上昇するという現象を確認した。
- 川内川のような大河川で今回のような雨の降り方は経験なく、大潮の満潮と重なったものの川内川水位観測所の水位上昇は過去にないほど急激であった。
- 地域や水門管理の方々と話した中で、古い施設について勉強会を実施した方がよいのではないかと意見があった。
- 住民の中では、水門管理の勉強会や古い施設はメンテナンスをしっかりとしてほしい声が多かった。また、一箇所ですべての施設を操作するなどの自動化ができないか、との声もあった。
- なぜ、2号機だけが動かなかったのか、その動かなかった原因をしっかりと検証して、雨がどれくらい降った時に住民に避難状況呼びかけるかなど、わかりやすい方法を検討してほしい。住民の安全が第一である。
- 「大雨が降るたびに河川敷で商売をやられている方や近くに住んでいる方などから放送関係が聞きづらい」「コロナ禍の避難所の密室が怖い」「鶴田ダムは満潮を避けて放流しているのか」などの声があったので、情報発信を国・県・市で連携して対応してほしい。
- 商店街からは、浸水被害が生じており、大変苦労しているとの声があがっている。

今後の予定

- シミュレーション結果を踏まえて、今回の浸水原因を報告。
- また、長期的な提案含む対応策を検討する。